

だれもが安心して学び合える学園

深い学び

安心・安全

誇り・自信

主体的な姿勢

共に生きる姿勢

やり抜く姿勢

9年間を通して、「たくましい北方の子」を育む

平成31年度 北方中学校

学校の教育目標 「高い志をもって 生きぬく力を身に付けた生徒の育成」

「目標 努力 発見」

一人一人が目標を決め、その目標を実現するため、悩み、苦しみながらも日々努力をし続けていく中で、新たな自分の良さを発見することによって、手放せない生き方を獲得していく営み

わかる・できる
喜び

教科の基礎・基本を
身につけた生徒

学習・図書委員会、教科係会
【学習部会】【研究推進委員会】
人権教育・キャリア教育・教科指導・道徳・総合的な学習の時間

協働する良さの
実感

仲間と協働できる生徒

生活・保健体育・給食委員会
【生活部会】
生活指導・教育相談・個別支援
特別支援教育・健康安全指導

努力してやり切れた
誇りと自信

心を伝え合える生徒

執行部・議会・運営・整美・合唱委員会
【活動部会】
学級活動・生徒会活動・校外生徒会活動・部活動

【キーワード】

常

みんなちがって、みんないい

金子みすず「わたしと小鳥と鈴と」より一部抜粋

北方愛

- ・日常が大切(行事だけ頑張る、部活動だけ頑張る、先生のいる時だけ頑張る、そんな生徒にしたい)
- ・それぞれのもつ個性を良さとして捉える。お互いの個性を理解し合うことが大切(生徒も職員も同じ)。
- ・ここ(北方中学校)に集ったことは偶然の出逢い。でもこの出逢いをどう捉えるか(北方は素敵な所)。
- ・教師は大変な仕事だがやりがいのある仕事。教師は子ども達の成長を育むとても夢のある仕事。
- ・学校だけではできないこともある。地域や関係諸機関との連携が重要。
- ・「ごめんなさい」では許されない…生徒の命を守り切る。

学校教育の基盤

地域・保護者との連携

- ・学校からの情報発信(通信、HP等)
- ・関係諸機関との日常的な連携(P T A、警察、民生・児童委員会、自治会、要対協、子相等)
- ・幼、小、中の連携(町内3小学校との兼務)
- ・学校評価を生かした学校教育の改善

危機管理意識の高揚

- ・施設・設備の安全管理
- ・問題行動、事故等の緊急対応
- ・自分で自分の命を守る防災教育の推進
- ・教職員の不祥事の未然防止と対応
- ・保護者や地域からの相談・情報提供への初期対応

高い志をもって生きる職員

- ・一人一人の生徒の自己決定を大切にす。
- ・徹してつく・やり切らせる・価値付けることで、自己有用感を味わわせる。
- ・一人一人が活躍できる場を意図的に位置付ける。「主役が生徒」
- ・一人一人の自己決定や頑張ったことを多くの職員で共有し、様々な場で価値付ける。
- ・前年度踏襲ではなく、指標に基づきPDCAサイクルによる改善・実施。
- ・事実一つ。事実を確認し、事実に基づき指導する。
- ・トラブルは起こるもの。大切なのは初期対応。炎上する原因は初期対応ミスによるもの。
- ・生徒指導の最前線は(教科)担任。だからといって自分自身で抱え込まない。
- ・組織で判断し、組織で行動する。「チーム北方」として連携プレーを。